

平成27年12月の思いやり通信



地域まるごと省エネ実験 関電 「けいはんな」で来年度

1000世帯対象、企業と連携 需給の変動幅抑える

関西電力は、2016年度に関西文化学術研究都市で電力需給を調整する実証実験を始めます。地域の商業施設や複数のマンションの約千世帯を対象に、最新の省エネ技術を導入し、エネルギーの効率利用を促します。

温暖化ガスの削減や電気料金引き下げにつなげ、環境に優しい「スマート都市」づくりに役立てます。

(2015年11月12日 日本経済新聞記事から抜粋)



省エネ中古住宅 金利優遇 一億総活躍原案

エコカー補助も拡大

政府がまとめる一億総活躍に関する緊急対策の経済分野の原案が分かりました。省エネ性能の高い中古住宅を購入する際の金利優遇を拡大するほか、航続距離が長いエコカー購入への補助金拡充を検討します。

(2015年11月20日 日本経済新聞記事から抜粋)



配管に水を循環 ビル冷房2割安

立命館大が空調システム

立命館大学は、建物の中に配管を通して水を循環させる空調システムを開発し、夏の冷房費を2割減らせることを確かめました。

ビルの基礎部分のコンクリートで熱を放出して冷水を作り、部屋を冷やします。冬は太陽熱も組み合わせて水を温めます。3年後の実用化を目指します。大成建設や安井建築設計事務所と開発しました。

(2015年11月23日 日本経済新聞記事から抜粋)

テーマは「思いやり」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 2

新築の半数 エネ消費ゼロ 政府、2020年目標

戸建て 省エネ投資促す

政府は2020年に新築戸建て住宅の半数について、太陽光発電などで消費する電力を賄い、差し引きしたエネルギー消費をゼロにする目標を掲げます。

現在、ゼロエネ住宅の年間販売戸数は約15,000戸と、注文住宅市場の15%にとどまっています。補助金を拡充するなどして2020年までに3.3倍の5万戸程度に増やします。断熱窓の採用など、省エネに必要なリフォームも2020年までに64万件と倍増させます。

(2015年11月26日 日本経済新聞記事から抜粋)

